

いけだ

No.121

議会だより

平成31年1月30日発行

初釜でお抹茶いっぷく健やかに
～1月茶会・安曇野シュタイナーこども園おひさまにて～



12月定例会 休日議会を開催

議長新年あいさつ P2
一般会計補正予算の目玉 P3～5
10議員が町政をたず（一般質問）.....P9～17
シリーズ・町民のみなさんに聞く..... P20

新年の あいさつ



議会議長
那須 博天

新年明けましておめでとございます。ご家族みなさまで希望ある明るい新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。年頭にあたり、町議會を代表して謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様には日頃より、町政の発展と議會運営に対し、多くのご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、西日本の豪雨災害や大阪、北海道の地震による災害が発生いたしました。全国各地で避難生活をされている方たちが多くおられますこと、心からお見舞い申し上げます。

池田町では高瀬川の増水により、あづみ野広場マレットゴルフ場とグラウンドが多大な被害を受けました。高瀬川左岸の中之郷地籍では堤防が削り取られ決壊寸前となりました。道路では広津地区で土砂災害が発生しました。幸いにも大きな被害には至らずよかったと思っています。

今年は、町の芸術、教育文化の中心的施設として地域交流センターが完成します。まちなかの賑わい施設「シェアベース・にぎわい」とともに、町の益々の活性化を期待するところであります。社会資本総合整備事業における道路整備事業では、あづみ病院正面東側

から総合体育館西側、高瀬中学校南側につながる町道251号線の改良工事が完了します。一丁目交差点から総合体育館やあづみ病院への利便性の向上が期待されます。農業関係につきましては、昨年より進めている法人化による農地の集積や規模拡大による生産性向上により強く取り組まなければなりません。池田町の主要産業である農業の生産が向上し発展するよう願っています。

「平成」もこの4月で終わり、新しい年号となります。池田町議會議員も4月改選となり5月からは新しい体制でスタートします。新たなスタートとともにお互いの絆を大切にしてよい年になって欲しいと思います。

皆様のご多幸と益々のご発展をお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

ようこそ!! 池田町議会 未来を担う子どもたちと共に



『議会って何をするとところですか?』

【10月2日】

会染小学校3年生の皆さんが社会見学にて、役場庁舎や3階の議場を見学されました。質問席に立って質問方法を勉強していただきました。

【12月19日】

12月定例会の最終日には池田小学校6年生の皆さんが本會議を傍聴されました。最終日での議案討議や採決の様子を見ていただきました。



『少し緊張しています!!』

12月
定例会

小中学校の夏の暑さ対策と 台風被害復旧事業の補正予算を可決

一般会計補正予算で決まった事業はなに!?

主な目玉事業 ピックアップ

●12月定例会の概要
12月10日～19日の会期10日間で、承認1件、議案8件を審議し全て可決した。陳情4件、うち3件を採択し関係機関へ意見書を提出した。残る1件は次期会期までの継続審査とした。

**学校施設
改修事業**
820万円
小中学校の教室にエアコン
設置のための設計委託料

〔財源〕
公共施設等整備基金繰入金
820万円



扇風機では過ごせない夏の暑さ

道路維持経費
2230万円
除雪委託料と
重機借上げ料など

〔財源〕
一般財源 2230万円



大変な除雪作業

障害者福祉事業
7120万円
介護給付訓練等給付費

〔財源〕
障害者総合支援給付費国庫負担金
3560万円
障害者総合支援給付費等県費負担金
1780万円
一般財源 1780万円



災害復旧事業
4180万円
平成29年10月の
台風21号による
地滑り被害の復旧工事費

〔財源〕
公共土木施設災害復旧費国負担金
1401万円
公共土木施設災害復旧費過年度国負担金
1267万円
補助災害復旧事業債 770万円
補助災害復旧事業債過年度分
560万円
一般財源 182万円



町道300号線災害現場（中之郷）

ここが
聞きたい

予算審査

質疑

予算決算特別委員会

～補正予算審議について、いくつかの審議の内容をお知らせします～

住民課

バス運行事業について

問 町営バスの事故は保険の適用があり、リース代も戻ってきたことで良かったと思うが、先方との示談はどのようになっているのか。

答 先方から9月13日に申し出があった。町から9月19日に承諾書を先方に提出している。

問 時刻表等更新業務委託料でバス停を3カ所増やすことはありがたいが、高瀬荘も増やして欲しいという要望があるが。

答 増設は難しい。

問 運行する側のクラクションの音量など、受け止める側の気持ちを配慮した「運行マニュアル」があればトラブルが生じないと思うが、どのような対応をされているか。

答 運行マニュアルは確認していないが、委託業者とも連携していきたい。



安曇野線走行のラッピングバス

企画政策課

少子化対策について

問 企画費の少子化対策として、講演会を企画しているかどのような内容か。

答 育児雑誌の編集長を招き、親子を対象とした具体的な子育ての学習会を予定している。また、10月にはニュージラード在住の及川孝信氏を招き、学習会を行った。



10月13日開催 少子化対策プロジェクト学習会

産業振興課

町なか駐車場の利用促進を

問 新設の第2駐車場の空きが目立つ。利用促進を図ってほしい。

答 無料駐車場の表示など工夫して、多くの方に利用してもらえよう努める。



町なか第2駐車場

健康福祉課

障害者福祉事業費の増額は

問 民生費の障害者福祉事業費の補正額が7120万円であるが、当初予算に繰り込めないのか。

答 前期分の実績の中で当初予算を上回る件数が出てしまいが、また、1件の単価的なものが多かったことにより増えてしまったということである。

予防接種や健診事業の現状は

問 高齢者の肺炎球菌・インフルエンザ予防接種についての現状は。

答 高齢者の肺炎球菌予防接種は5歳刻みで行っている。

る。国の政策により来年度は変更されてくるのではと思う。インフルエンザの予防接種は、65歳以上全員が対象となっている。

問 各種検診の委託料が増えている。受診状況はどうか。

答 検診の主な増加として、肺がんCTの検診が大きな割合を占め、件数では例年を上回っている。



建設水道課

除雪対策は

問 自治会長会で高齢化により除雪が出来ないとの声があったが対策は。

答 自治会に後継者をお願いしている。現状では、建設業者にも頼めないので地元の皆様に協力して頂くようお願いしている。高齢化による人材不足は、町全体の問題でもある。



除雪作業も高齢化

教育保育課

放課後児童クラブの利用状況は

問 放課後児童クラブの現状は。

答 登録者は、会染児童クラブが106人、池田児童クラブが82人である。

利用状況は、会染の長期休暇及び休日利用が2%増、平日が10%減少。池田の長期休暇及び休日利用は8%減少、平日は8%減少している。子どもたちが安心して安全な中で過ごせるよう支援している。



児童クラブで遊ぶ子どもたち

文化財保護、今後の予定は

問 指定文化財以外の文化財が多くあると思うが今後の予定は。

答 文化財保護委員会でも課題となっているので今後検討していきたい。

○国民健康保険特別会計 補正予算について

問 療養給付費は昨年度に比べ増えているのか。

答 9月期までは昨年とほぼ同じ状況であったが、10月期になって増加している。高額療養費は1000万円を超え、保険給付費総額が増加している。

問 10月に医療費が急に伸びた原因は。

答 個々の事案については分析していないが、高額な医療にかかっている方が集中したと思われるが、一過性かどうか見ていかなければと思っている。

問 保険給付費が右肩上がりで行った場合、予防措置を考える必要があるのでは。

答 早期発見をして、高額な医療費がかからない状況にするため、保健事業で頑張っている。

問 予防的な意味も含め、健康福祉課と連携し、国保会計の状況を広報してみているかどうか。

答 健康福祉課と協力し、これからも積極的に広報をしていきたい。

健康づくりに取り組みましょう

医療費を抑制することは、保険料の抑制につながります。



バランスのとれた食事を！

定期的な町や医療機関の健診で健康チェック！



運動などで健康づくりを！

〈表紙〉

『初釜でお抹茶いっぷく健やかに』

～1月茶会・安曇野シュタイナーこども園おひさまにて～

安曇野の自然と里の暮らしを生かし、豊かな感性と健康な体を育むことを大切にしているシュタイナー教育では、月1回のお茶会など伝統行事を体験している。豊かな自然とあたたかなまなざしに見守られ、今年もひとりひとりの個性が輝き、心身ともに豊かな成長を、初釜『このいっぷく』に願いをこめる。



常任委員会

陳情4件を審議しました

総務福祉委員会

●陳情10号 「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書採択について

意見 後期高齢者の方は戦後、非常に苦労してきた人たちであり、老後は安心して生活できるように、1割負担は維持した方がよいと思う。不足分は貯金を取り崩し、2割となれば医者にかかれなという人も増えるのではないか。よってこの陳情に賛成である。

意見 賛成はしたいが資料の内容には納得できない。

審議結果 賛成多数で採択
関係機関への意見書提出することを決する



●陳情11号 「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情」について

意見 介護現場の実態は資料の通りと思うので、採択すべきと考える。

意見 実際にどんな状態なのか、近隣の状況も明記した上で出すべきではないか。

意見 医療連の調査であるので、県内の状況もふくめた数値ではないか。全国的な組織から出ているもので、トータルとして把握しているという理解で良いのではないか。

審議結果 全員賛成で採択
関係機関への意見書提出することを決する

●陳情12号 「全国知事会が求める日米地位協定の抜本的見直しと日本からオスプレイの撤去を求める陳情書」について

意見 知事会でも日米地位協定の抜本的見直しを提出しており、オスプレイの事故が頻発しているので、採択すべきと思う。

意見 日米地位協定は不合理であり、不条理極まりないと思うので、この陳情書は採択すべきものである。

審議結果 全員賛成で採択
関係機関への意見書提出することを決する

振興文教委員会

●陳情13号 通学支援バスに関する陳情書

意見 池工生徒のバス無料化は財政上の問題、町外の人に町の税金を使用する事などで判断が難しい。

意見 県立高校なので県への要望とも考えられるが、もっと調査が必要と考えるので継続審査したい。

意見 陳情校のみ無料では、他校通学生との公平性からいっても問題が生じる。

意見 現在もバス通学生



通学に利用される町営バス

には半額補助している。これ以上の支援は町の財政からも困難であり主旨採択と考える。

意見 無料化は難しいが現状の実態や今後の厳しい生徒数を考えると何らかの方法により、支援の上乗せを考えるべきである。

審議結果 賛成多数で継続審査

請願・陳情ってなあに？

みなさんの要望や改善事項を文書で議会や町執行部に伝える方法として請願書や陳情書の提出があります。

池田町議会では、議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情と呼んでいますが請願書も陳情書も同じ扱いです。

提出された請願書や陳情書は、議長が受理します。その後、定例会で関係する常任委員会や議会運営委員会に付託し、本会議で採決し議会としての結論を出します。

■請願書・陳情書の書き方と留意事項■

1. 請願書（陳情書）は、その要旨、理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
2. 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
3. 請願書は1人以上の紹介議員が必要となり、請願紹介議員の署名、または記名押印してください。
4. 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。

本 会 議 質 疑

【議案】

農業委員会に関する条例の一部改正について

問 農地利用最適化推進委員を2人から4人にすることによって費用対効果はどうなるのか。

答 農地の集約が重要な課題で、877haの土地を2人では厳しい。2人増やして農業者の相談や耕作放棄地の防止に努めてもらう。

問 農地パトロールをしている事が解るよう車にステッカーを付けるなどの工夫をできないか。

答 現在、パトロールをしている時は、帽子、腕章、農地パトロール中のビブスをつけている。



農業委員・最適化推進委員による
農地再生のための抜根等作業

【議案】

平成30年度一般会計補正予算(第9号)について

問 国から地方交付税350万3000円財政措置されるが、ラスパイレス指数が29年4月現在96.6%であるが、補正によって数字はどう変わるのか。

答 公務員の給与改定により増額したが、前年より若干下がる傾向である。



ラスパイレス指数とは、地方公務員の給与水準を比較する指標として用い、国家公務員との比較で給与水準を表すもの。

本 会 議 討 論

議 案

賛成討論

【議案】

池田町一般会計補正予算について

矢口 稔 議員

今回の補正予算は国及び県の補助金確定により計上されたものが主である。社会福祉費として介護訓練等給付費 7100 万円などである。また、道路橋梁費として冬の除雪委託料 1600 万円が計上された。

小学校費としてはスキー教室のバス代、理科用コンロの更新に伴う費用、また、プログラミングソフトの費用などが計上された。池田町を担うこれからの子どもたちの成長を期待するものであり必要と考える。

しかし、町の貯金である財政調整基金の繰り入れが 4590 万円となり、本年度の財政調整基金からの繰り入れ額は 7 億円の大台を超えた。

今後の財政をしっかりと見極めて、町政運営を行っていただくことを希望し賛成討論とする。

陳 情

賛成討論

〈陳情〉「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書採択について

服部久子 議員

高齢者の貧困が進んでいる。年金が下げられ、各種保険料が上がる中、これ以上の負担は厳しい。よってこの陳情に賛成する。

〈陳情〉安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める陳情

服部久子 議員

医療、介護分野の労働は心身ともに非常に厳しい状況が続いている。そのことにより労働力不足が常態化している。よって早期の改善は必要であり陳情に賛成する。



〈陳情〉全国知事会が求める日米地位協定の抜本的見直しと日本からオスプレイの撤去を求める陳情書

服部久子 議員

日本国内で起きた米軍にかかわる事故を国内法で裁けないのは、独立国としてあり得ない。国は、国民の命と財産を守る責任がある。よって地位協定の見直しは当然であるのでこの陳情に賛成する。



主な議案の説明と 審査結果

12月定例会
提出案件

○…賛成 ●…反対

区分	件名	審査結果	倉科栄司	横澤はま	矢口稔	矢口新平	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	櫻井康人	立野泰
承認	平成30年度池田町一般会計補正予算(第7号)について 小中学校の教室用のエアコン設置の設計委託料820万円を補正した	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	北アルプス広域連合規約の変更について 大町市立病院併設施設の感染症病床を大町市立病院に譲渡するための規約を改正する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	池田町農業委員会に関する条例の一部を改正する条例の制定について 農業利用最適化推進委員2人を4人に増員する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	町道の路線廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	町道の路線認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	平成30年度池田町一般会計補正予算(第8号)について 障害者福祉費の介護給付費7120万円、除雪のための道路維持費2230万円、台風災害による復旧費4180万円など、合計1億5071万円の増額補正する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	平成30年度池田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	平成30年度池田町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	池田町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告に基づき国家公務員の給与改定に準じた一般職の給与改定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	池田町特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 特別職給与法改正に準じた常勤特別職及び議員の期末手当の改定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	平成30年度池田町一般会計補正予算(第9号)について 給与改定による人件費の増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	平成30年度池田町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について 給与改定による人件費の増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	平成30年度池田町水道事業会計補正予算(第1号)について 給与改定による人件費の増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
発議	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	全国知事会が求める日米地位協定の抜本的見直しと日本からオスプレイの撤去を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書採択について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
陳情	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	全国知事会が求める日米地位協定の抜本的見直しと日本からオスプレイの撤去を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	通学支援バスに関する陳情書	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



請願(陳情)の採択・不採択…議会がその内容を審議して決定した賛否の意思決定のこと
表決(可決・否決・同意など)…議会の意思決定(個々の議員が参加し、議題などに対して賛成、反対の意思表示する)

10議員が町政をたずねます！

ここが聞きたい

10人が一般質問を行いました

平日がお仕事の方にも傍聴していただけるよう、日曜日に議会を開催しました。一般質問は町民の日常の声や議員の考えをもとに、町長や教育長などへその方針を問うものです。

休日議会はひとり 40 分の制限時間内で質問します。議会だよりはスペースの都合上、質問と答弁の要約を記載しています。

質問者	質問事項
矢口 新平	・ 池田町における保小中一貫教育の今年度までにおける推進状況は ・ 日本アルプス国際学院の現状と今後の町としての取り組みは
横澤 はま	・ 健康教育における食に関する条件整備について ・ 健康長寿をめざす食育の取り組みについて ・ 地域交流センターの運営組織体制について
倉科 栄司	・ 空き家バンクの現状と課題について
薄井 孝彦	・ 池田町平坦部の水道用地下水の保全対策について ・ 防災対策について
服部 久子	・ 給食費減免の具体化は ・ 学校と地域の連携で自殺防止対策を ・ 生活保護引き下げの影響は ・ 高齢者の足の確保について
大出 美晴	・ 鳥獣被害の現状について ・ 保小中一貫教育の将来像は ・ 移住者の自治会への加入促進は
櫻井 康人	・ 農業環境の変化に町はどう対応するか ・ 中学校の運動部活動について
矢口 稔	・ 国際交流の推進について ・ 新地域交流センターは誰のものか
和澤 忠志	・ 認知症対策について ・ 保育園、小中学校における農業体験の取り組みについて
立野 泰	・ 今後の海外販路拡大事業の方向性は ・ 有効な移住定住促進事業のアピールは



保小中一貫教育について 今の現状は

矢口新平 議員

問 保小中一貫教育の今年度の進捗よく状況が未だに見えてこないのでは。町民に対し、十分に説明する必要があるのではないかと思うが。

答 現在は、毎月三校の校長と池田、会染両園長による校園長準備会を開催して、31年度からの計画の素案・特に教職員に向けた推進プランを練っている。

問 町民にビジョンが見えてきていない。もっと外部に向けアピールする必要があると思う。教育現場は大変忙しいと思うが、どのように考えるのか。

答 今年度は、年間の研修計画や内容指導者の検討、また、園務・校務の改革を行っている。この会議の開催により、それぞれの活動状況が共有され、一体化が



健康教育の「食に関する 条件整備」について

横澤はま 議員

問 新学習指導要領に基づいた、効果的な教育活動の展開はどう考えるか。

答 保小中一貫教育の中で、学校全体としての教育内容や時間の配分、教科横断的な学習形態など、カリキュラム・マネジメントを作成し共有化を図る。

問 各教科と関連つけた「食に関する全体計画」はどのように進めていくか。

答 給食時間や各教科・総合的な学習の時間・保健活動・食育月間・学級活動などを通し、更に充実、体系化していく。少子化に伴い、給食センターの栄養士2名体制が、やがて1名体制となる事を危惧するが、早くの対応が必要では。



空き家バンクの現況と 課題について

倉科栄司 議員

問 空き家バンクの現況は。また昨年実施した実態調査の方法と調査から外した物件の理由は。

答 11月末現在25件の登録があり、その内賃貸3件、売買9件の商談が成立している。調査から外した物件は広津・陸郷地区の居住に適さない物件だった。

問 売却・賃貸を希望しない所有者の理由は何か。

答 将来活用予定があったり、現在物置や倉庫として利用している。今後解体予定があるなどの理由であった。

問 空き家バンクの制度ができ1年が経過したが、課題として把握していることは何か。



元気に遊ぶ子どもたち(会染保育園)

図られた。お互いに意見交換がされた事が大変前進だ。

問

会染保育園の老朽化は大きな問題である。池田保育園との差が大きすぎるのではないのか。池田町の子どもたちは、平等でなければいけない。とりあえずは、保育料やその他、可能な部分で金額の差の違いをつくったらどうか。

答

改善しなければならぬ大きな課題である。寒さ暑さ対策など来年度、遊戯室と事務室にエアコンを設置する。会染保育園については、今後の町の財政状況と将来人口の推計をみながら検討していく。

答

2名体制が維持できるよう両町村で強く要望している。

健康長寿を目指す食育の取組について

問

高齢者の生活習慣病の重症化予防と虚弱（フレイル）進行の予防対策は。生活習慣病予防及び、重症化予防を中心に、健康教室・ゴム体操・認知症カフェ・ふれあい会などの事業を、各関係機関と連携し活動をしていく。

答

地域交流センター運営組織体制について

問

複合施設としての運営組織体制は、いつ整えられるのか。

答

教育委員会、運営審議会、町芸術文化協会などと協議していくので、今しばらく時間をいただきたい。



地域と育む食育推進活動

答

課題は所有者と連絡が取れないケースや、利活用が困難などの理由で登録が難しい物件が多いことである。

問

地区の空き家に関する情報を提供していただくよう、自治会長に依頼をされているか。

答

総務課消防防災係で池田町空家等対策計画に基づき、空き家調査を業者委託して実施している。この結果をデータベース化し、ここに自治会からの情報提供をプラスしていく。

問

ハーフセンターやシェアスペースなど移住希望や空き家バンクの利用を希望する皆さんが、資料請求や情報提供を求めるアンケート用紙を用意すると共に、その場で用紙を投函できるポストを設置したらどうか。

答

実現に向け検討したい。



空き家バンク登録後の成約済み物件



町平坦部水道用地下水の 保全対策を問う

薄井孝彦 議員

問 町平坦部の水道用水源は地下水を揚水している。安曇野市の地下水調査から町地下水は松本盆地の大きな地下水ガメとつながっている可能性が高い。安曇野市の地下水が減少しているが、町の水道用地下水への影響はないか。

答 今のところ揚水に支障はでない。

問 安曇野市の調査によると、松本盆地の水田作付面積が現在よりさらに40%減った場合、町の地下水は今より5mから10m低下すると推測される。その場合、家庭用浅井戸の水枯れが心配である。町として家庭用浅井戸の調査を行えないか。

答 家庭用浅井戸の調査は検討する。



給食費減免の具体化は

服部久子 議員

問 9月議会で次年度の給食費の減免策を示すとしたが具体策は。

答 現在年額1万円を減免しているが、次年度からは年額2万円減免する。

学校と地域の連携で自殺防止対策を

問 日本の自殺者は外国と比較して多い。町の現状と自殺防止計画の策定を。

答 町の自殺者は平成18年から29年まで16人である。自殺防止計画は今年度中に策定する。

問 日本の小中高校生は自己肯定感が低いと言われている。長期休暇直後に自殺が増加する傾向だが、学校での取り組みは。



鳥獣駆除の現状は

大出美晴 議員

問 電気柵設置状況は。また鳥獣駆除の状況や鳥獣被害への取り組みは。

答 電気柵の設置状況は、中之郷・鶴山・洪田見・滝沢・相道寺地区、広津ふれあい農園エリアで、電気柵の総延長は約7.8kmとなっている。

有害鳥獣駆除実施隊を組織し、平成30年度は17名で実施している。今年度は10月末で二ホンジカ24頭、イノシシ25頭、カラス19羽、サギ類10羽を駆除した。また、被害対策は、二ホンジカ・イノシシの駆除については、32箇所にくくり罠を設置している。サルは学習能力が高いので、罠についての先進事例を参考に研究中である。カラスについても追い払い方法を検討している。

問 松本盆地の地下水保全策として、ミネラルウォーター製造業揚水量の上限規制及び業者総数の規制が求められる。町としてアルプス地下水保全対策協議会にそのことを提言できないか。

答 協議会のルールとして「具体的な規制は含まない」としているので、提言できない。

問 町の地下水保全策として東山の森林涵養対策は。

答 森林経営管理法の成立に基づき来年度から新たな「森林管理システム」が始まる。これを活用し森林整備を行う。

ブロック塀の安全点検対策は

問 大阪北部地震のようなブロック塀倒壊による死亡事故が起きないようにブロック塀の安全点検をどのように行うか。

答 自主防災会に再度、点検を依頼する。広報でもブロック塀所有者に点検していただくよう再度お願いする。



5丁目第5水源施設
(地下44mから揚水)

答 当町の小中学生の自己肯定感是全国平均を上回っている。日頃からお互いを認め合う活動をし、悩みを聞く対応をしている。自己肯定感を高める取り組みをし、チャイルドラインなどを周知している。

生活保護引き下げの影響は

問 10月から生活保護が引き下げられた。町の生活保護受給者や就学援助受給者へ影響はあるか。

答 今回の改定で15世帯が増額、6世帯が減額、10世帯が同額になった。就学援助の対象から外れた受給者はいない。

高齢者の足の確保

問 高齢者の足の確保のためデマンド方式の交通施策の実施ができないか。



学校給食センター調理風景



※デマンド方式
利用者の事前予約に応じて運行経路やスケジュールを合わせて運行する地域公共交通システム

※チャイルドライン
18歳までの子どもが悩みなどを話せる専用電話
全国で2,000人が対応

保小中一貫教育の将来像は

問 学校統合を念頭に置くのか。町と学校の双方に考え方の差は無いのか。

答 「更により良い教育を目指すもの」である。保小中一貫型教育についての改革であって、ハード面ではない。学校長園長準備会により教育委員会と保育園、小中学校のすり合わせをしている。保育士、教職員が意識改革をして同じ立場、方向を目指し取り組めるかが鍵である。

移住者の自治会への加入促進は

問 町としての取組みは。

答 加入率は平成21年度から推移すると、約10%落ち込んでいる。移住者の未加入分が大きなウエイトを占めると推測する。転入手続きの際も案内しているが歯止めが掛からず、決定打が無いことは事実である。



整備された電気柵



農業環境の変化に町の対応は

桜井康人 議員

問

TPPが12月30日発効するが、農業分野での町の対応は。

答

町の農業の中心は水稲であり、これまで以上にコメの継続的生産に向けて農地の集積・集約化、農業機械の近代化を図り、生産コストの低減を目指す。また、コメのブランド化、輸出米についてもJ-A大北との連携、検討をしていく。

問

農業の生き残り策として、農工商が持っているノウハウを集中し、売れる農産物のブランド品を造り出す必要があるか。

答

ブランド品開発の必要性があり、6次産業化を推進するためにも農業、商業、工業が連携してブランド品の開発に向け、中小企業・小規模事業者振興条例に



国際交流の推進をもっと力強く

矢口 稔 議員

問

12月マレーシアから高校生が高瀬中学校に訪れた。11月に議会視察で同国を訪れた事が機会となった国際交流である。中学生の皆さんも良い刺激や経験になったと聞いている。他市町村をみても国際交流が盛んであるが、当町はまだ1カ所もない。候補都市など選定に向けて、積極的に取り組んでほしいが。

答

国際交流は町総合戦略で位置づけられている。担当課で相手先を絞っている。候補地としてニュージーランド、マレーシア、ベトナムなどが挙がっている。来年度中にはめどを付けたい。

新地域交流センターは誰のものか

開かれた議会を目指して

第6回「町民の皆さんと議会との意見交換会」を開催

昨年に引き続き町内外で活動されている、池田町商工会、池田町芸術文化協会、池田町女性団体連絡協議会の皆さんとの意見交換会を行った。

池田町芸術文化協会の皆さんとの意見交換では

当議会の振興文教委員会委員が担当して、町政状況と議会の取り組み（保小中のエアコン設置、専門学校設立の経緯と進捗よく状況、災害協定など）について報告をした。

芸文協は28団体（338名）で活動し高齢化により減少しているとのこと。

意見交換では

○公共施設使用料について

○地域交流センターオープンに向けソフト面の詳細を知りたい

○各種ワークショップでの内容の報告をしてほしいなどが出され、活動の一端を知ることができた。



芸文協さんとの意見交換会

池田町女性団体連絡協議会の皆さんとの意見交換では

基づく「円卓会議」において検討する。

中学校運動部活のあり方は

問 スポーツ庁通達の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が、子どもたちへ与える影響力は。

答 全国に共通する部活動の課題に対する新たな打開策と考える。少子化に伴い、部員確保の困難性、生徒の多様なニーズへの対応など課題は山積みである。過度な活動にならないよう通達を遵守する。

問 スポーツ庁の権限は。また、生徒数減少による町のスポーツ環境は。

答 文科省や厚労省など、複数の省庁にわたるスポーツ行政の関係機構を一本化するもので、スポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを任務としている。児童生徒数の減少に対応して、県も「合同部活支援事業」「ゆるスポ活動支援事業」など展開しており、町もそれにのっとった対策が必要と考えている。



どうなる日本の農業
(芽が出た麦畑)

問 新地域交流センターへの愛着形成は、生まれる前の赤ちゃんが胎動を通じ母子のコミュニケーションを図るように、完成前の町民との交流が、後々の事業運営に大きな違いが生まれてくるのではないか。

答 愛称決定に中高生の投票を予定している。子どもたちを中心に関わりを持ってもらい、愛着をはぐくむ取り組みを続けていく。

問 図書館の移転、町民参加で

図書館の移転は交流センター竣工に合わせてオープンが可能なのか。また、移転費用に約500万円の経費がかかるという。町民の手で経費を削減し、新しい図書の購入にしたいとの声も聞か。

答 引越しには約3カ月が必要。現在では10月にオープンの予定である。引越しは初めてなので職員も不安がある。一部でも町民の方からのご協力をいただけるよう検討する。



中学生と一緒に授業を受けるマレーシアの学生

ワークショップ方式で気軽に、また身近に意見交換ができるように工夫をした。各グループで課題を決めて進行し、とても活発な意見交換が行われた。

○防災・減災対策（女性としての役割を考える）
○少子化対策における、子育て支援や保小中一貫教育について

○健康長寿の視点から、食育・運動・メンタルケア（社会参加）について

○日本一美しい町づくり「修景・ゴミ減量化・美化運動」などについて

○町公共施設のあり方（ハーブセンター・クラフトパーク周辺施設、地域交流センターなど）

池田町商工会の皆さんとの意見交換では

議員が考える町づくりについての持論発表および、6次産業化の取り組みについてグループ討論を行った。観光問題、景観を生かした観光客の誘導、てるてる坊主の活かし方、基幹産業でもある農業を生かしたまちづくり、池田町に相応しいまちづくり、商工業の振興策などの意見が出された。



共通課題をグループで意見交換



意見を出し合い課題解決を



認知症対策の 取り組みは

和澤忠志 議員

問

認知症初期集中支援チームへの相談件数と実績は。

答

9月末時点で相談件数は延べ11件でその内、医療や介護保険サービスにつながったのは2人である。

問

大町市と比べると活動実績が少ないと思われるが。

答

認知症カフェが始まり地域に出向き認知症地域支援推進員2名を中心に相談業務に当たっている。困った時は認知症初期集中支援チームに相談している。認知症については、20年あまり前からあづみ病院と連携し取り組んでいるので、認識は早くからあり、その対策も進んでいると思う。あづみ病院認知症疾患センターとそのつど連絡を取り合っているので、町の段



町特産品の海外販路拡大 の方向性について

立野 泰 議員

問

酒類など海外販路拡大における、三市町村の連携は。

答

町の二酒蔵、安曇野市の一酒蔵の共同のラベル、パッケージ、パンフレットを製作した。これを活用し、マレーシアへ酒の輸出に取り組んでいる。又新たにオーストラリアをターゲットに三蔵による現地でのフェアを現在展開している。

問

酒販売の窓口と酒蔵への発注など、輸出5年後の動向は。

答

各酒造メーカーが、バイヤーを通して対応していく。町の産業振興課も窓口となり協力していく。伊勢丹ジャパンや、ペナン島の飲食店でも、当町の二酒蔵の日本酒の売れ行きが好調と聞く。三市町村での交付金を活用し行うフェアは5年

議会報モニターさんに聞きました

感想やご要望は

- 表紙「池田つむぐプロジェクト」は新しいまちの躍動ある情報でよかった。次世代を担う若者たちの活動であると思う広報紙「いけだいろ」も一緒に紹介してほしい。
- 一般質問では写真が大きく、紙面構成がとても画期的であった。紙面の構成から仕方ないが内容が軽微になっている。
- 見開きページを使った構成は、議場の臨場感が伝わった。活字も大きくなり読みやすくなった。
- 委員会や議会活動が具体的に記載されている。開催期日の明記を。

知りたい情報は

- 「池田町農産物加工組合力モミールの会」の今後について
- 専門学校の町の係わり方
- 美しいまちづくり、修景促進事業に関する具体的な取組み

町や議会議員へのご意見は

- 「圏域単位」の行政サービスなどに対応するために、町職員が県や他市町村など異業種への人事交流を進め、より幅広い見識を持つ職員育成が必要と思う。
- 池田町には県立高校と養護学校があり、養護学校のある地区では、自治会や老人クラブなどが中心となって、お祭りや運動会などの交流会を

階で解決している件数の方が多い状況である。

問

アルツハイマー型認知症は、発病する20～30年前からアミロイドβの脳への蓄積が始まるので早期発見早期治療が必要であり、軽度認知障害の段階で治療を始める事が肝要と思われる。人間ドックのオプションとして診断が受けられるので補助をして検診を推進すべきと考えるが。

答

現在のところ必要性は感じていない。

保小中の農業体験の取り組みは

問

保育園や小中学校における農業体験の取り組みは。

答

保小中一貫型教育の中で、保育園から中学生までの間に、「種まきから収穫し食べる」までを体験できるようカリキュラムを作成して行きたい。



楽しい長ネギ取り

である。今回の輸出は、空輸の方法を取っている。高くつくので、数量をまとめるか、その手段を検討している。今後、2年間でマレーシアへの輸出量増加のため、バイヤー、飲食店などへの商談を進めていく。

有効な移住促進事業のアピールは

問

集客への具体的な取り組みは。また、農家民宿やシェアハウスなど、町民の理解は。

答

知名度アップのため、観光協会のホームページの更新を随時行う。各種イベントの開催に合わせ、紹介ブース設置などを検討する。池田町の特色として空き家に接している農地を購入できるようにした。滞在型観光が大きな課題であり、町内宿泊事業者の協力が不可欠である。また、助成措置も必要と考え検討する。



ペナン島のレストランで人気のお酒

10月臨時会の概要

10月22日臨時会を開会し同意1件を審議し可決

池田町教育委員会教育長に 竹内延彦氏の任命(新任)を同意しました



(住所)池田町3丁目
(年齢)52歳(昭和42年1月7日生れ)
(任期)2019年1月1日～
2021年12月31日
(経歴)民間企業やNPO法人勤務を経て、平成23年4月より平成30年12月末まで長野県次世代サポート課に勤務し、「信州やまほいく普及事業」他子ども若者支援全般に携わる。

している。このような活動を全町に広げていただきたい。

- 町の各課、係員の活動内容を掲載すればいいか。
- 第6次総合計画に対してのパブリックコメントは、資料が60頁に及ぶもので集まり難い。町民代表の議員からの提言が意味を持つと思う。
- 本議会討論は、もっと新鮮味が欲しい。
- 議会活動にももう少し関心を高めていくにはどのような取り組みが期待されるのか、共に考えていきたい。

※議会報モニター6名のみなさんからのご感想やご意見を掲載させていただいています。いつもありがとうございます。

9月議会での 平成29年度決算審査意見に対する町回答

池田町議会では9月定例会において平成29年度の決算審査を行い、要望などをまとめ町へ意見書として提出しました。その内容(抜粋)及び町からの回答を掲載します。

1 実質公債費比率が8.8%に上昇した。長期の見通しを立て慎重な行政運営を求める。

町回答 平成35年度に実質公債費比率がピーク(最大約14%)となる見込み。
34年度に繰り上げ償還(約3億円)を実施し公債費の抑制に努める。

2 社会資本整備総合交付金事業で道路事情が激変する。関係機関と連携し交通安全を最優先に整備を。

町回答 交差点となる個所や横断歩道などは、公安委員会と協議し道路整備を進める。

3 交通弱者の足の確保のため、町営バスの日曜運行の検討を。

町回答 7年ほど前に日曜運行をしたが利用者が少なかったため廃止した。
他市町村も日曜運行をしていないため接続できないので町も実施しない。

4 食育推進計画がスタートし、若者の食生活改善、小児生活習慣病予防の特化した取り組みを求める。

町回答 「朝ご飯を食べよう」をPRするため計画に沿って実施する。



5 松くい虫被害木の整理と被害の拡大を防ぐため、国、県に強く働きかけをされたい。

町回答 国、県に要望していく。

6 数年先を見据えた保育士の確保と待遇改善に努められたい。

町回答 計画的な募集を行い、臨時職員の処遇改善に努める。

7 地域交流センターの運営に町民参加がスムーズにできるよう取り組みの強化をされたい。

町回答 「利用者の会」とセンター運営を行い、会が自主企画事業を主催できる組織を目指し、交流センターを住民とともに盛り上げていきたい。



利用者の会
講座・イベント部会のような

8 開校予定の専門学校が長期の取り組みになるので、町民、学校、行政、議会が一体となって進められるよう求める。

町回答 情報を共有し、懸念される事項は早めに協議するよう努める。

学習会

法人町民税について

一般社団法人大北法人会池田支部より、法人町民税改正に関する要望書が提出された。池田町監査委員の吉澤暢章氏を講師に学習会を行った。町の法人税割額については、制限税率をH30年10月から10.9%に改正したが、消費税率の引き上げに伴い、H31年10月から8.4%にする予定である。

基本、税率は国によって定められているものである（標準税率）。ただし、制限税率の範囲内で課税主体の裁量によるものでもある。深刻な税収不足という課題もある。

今後も要望主旨に沿い注視していきたい。



新教育長に聞く



竹内延彦 教育長

池田町の教育構想について『日々成長する子どものために連続的な学びの環境を創造する意義について0歳から15歳まで切れ目のない学びの環境としての

「保小中一体的な」学校づくり』と題して、

- 信州やまほいくを通じて見えた子どもの成長
- 保小中一体的な学びが目指すゴール地点
- 生きる力とは
- 保小中「一貫」「一体」「混在」それぞれの『特徴』など、

エピソードを交え、思いや考えをお聞きした。

なかでも『幸福感は自己肯定感が幸せにつながる。自然体験や生活体験が豊富なほど自己肯定感が高い』という言葉が印象に残った。今後、教育長と地域のみなさんと大いに、これからの教育について議論を交わす機会を得たいと感じた。

海外視察研修報告〈視察先 マレーシア〉

2018年11月20日～25日 参加議員8名

町では国の交付金を受けて28年度から5年間で「安曇野地域（安曇野市、池田町、松川村）農産物・特産品輸出と外国人旅行者誘致事業」を実施している。特産品の海外販路進出は初めての企画であり、県内外からたいへん注目されている。その状況を知るためマレーシアのペナン島及びクアラルンプールを訪ねた。ペナン島の和食レストランでは「池田町フェア」を開催していた。池田町の日本酒が並び好評を得ており、特産品の「桜仙狹あずき」が食材として用いられていた。和食や日本酒にたいへん関心が高い。海外販路拡大の絶好のチャンスとして捉えたい。このほか、クアラルンプール市内の小学校や黒田精工マレーシア工場を訪問した。



SALAK SOUTH小学校訪問



ペナン島の日本食レストラン



安曇野池田酒フェアをPR



黒田精工マレーシア工場にて

シリーズ 町民の 皆さんに聞く

— 第10回 —



わざわ しゅんぱち
和澤 俊八 さん (花見)

略歴・活動内容

昭和8年東筑摩郡笹賀村（現在松本市）生まれ
信州大学教育学部卒、小中学校教員、大町小学校在職時京都大学〈哲学〉留学、元白馬南小学校長、平成7年から花見地区の「花とホタルの里づくり」に参加、以来活動が続けている。県内外ホタル先進地現場見学し信州ホタル保護連絡会参加、ホタルの里づくりボランティア

著書『安曇野にホタル舞う』



ゲンジボタルの幼虫放流

議会報編集委員会が町民の皆さまにお聞きし、生の声を届けます。

ホタル舞う里づくりから

平成8年、自宅の休耕

田、池の間と家の西側2箇所にも多くの方々が参加し、ホタルの生態に適す川と水辺を造成した。誠に感謝。完成後力ワニナを放流し、平成10年4月



ホタルの環境づくり

にゲンジボタルの幼虫を興味深く放流した。

その夏には長年見なかったゲンジボタル199匹が発見、復活した光の舞いを共に喜び感動する。カワニナとホタルが自然に繁殖し、近年はひと夏で800匹前後のホタルが水辺に光り輝き、生命を賛美している。

当時の町長からホタルの里をつくりたいので町内の発生状況を調査して欲しいとの依頼があった。平成24年6月上旬から7

月下旬まで発生水域を調べて回った。発生場所は、三郷、花見、滝沢、内鎌、洪田見、クラフトパーク、鶴山、十日市場であった。

ホタル発生水域は約7km、ゲンジボタル合計2万匹、ヘイケボタル合計約8千匹だった。風雨や長時間かかり光らない時間帯があり、実数は相当多いと思われる。この調べるポスター大の「池田ホタルマップ」や、現場の「ホタル生息域」看板に情報発信していただきありがたい。

ホタルが生息する自然環境は、水がきれいで健康な農作物が育つ。また、子どもと大人が共に体験して学ぶ「コミュニティスクール」に適する。美しく豊かな景観のホタル発生時期には大勢の方が観賞に訪れ、町の活性化の発展となっている。下水道の普及や町民全体による協働の成果である。



ホタルが生息する自然

環境は、水がきれいで健康な農作物が育つ。また、子どもと大人が共に体験して学ぶ「コミュニティスクール」に適する。美しく豊かな景観のホタル発生時期には大勢の方が観賞に訪れ、町の活性化の発展となっている。下水道の普及や町民全体による協働の成果である。

12月定例会を傍聴して

太田 勲^{つよし}さん（洪田見在住）

休日に行われた事で傍聴者はいつもより多いかと思いましたが、

質問では、地下水の問題について注目しました。飲料水メーカーが次々進出する事が予想され、西山麓の森林が切り開かれるとか、松枯れで地面が露出するなど、雨水が地表を流れ去り地下水になりにくい事などで、現在問題はなくても早く対策を立てる必要があると思いました。

高齢者の交通確保の質問では、高齢や認知症で免許返納が増加しています。細かな対応を早急に行って欲しいと思います。

会染保育園については、南部地域への子育て世帯者の移住が多く、早急の建て替えが必要です。

休日議会は、忙しい12月より6月の方が傍聴しやすいです。また、土・日曜日の2日間とすれば十分な時間で議論も深まるのではないかと感じました。

編集後記

新春を迎え、この一年皆さまにとって健康で幸多き年でありますようにと願うばかりです。

広く・深く「今、この一歩に全力を傾ける」という気持ちで、知恵と夢と元気を出し、わかりやすく、楽しく、読んでみたくなるような魅力ある広報に努めていきたいと思っています。

町民の皆さまが、より議会に関心を寄せていただく

議会報編集特別委員会

委員長 服部 久子
副委員長 横澤 はま
委員 矢口 新平
委員 和澤 忠志
委員 那須 博天